

神の福音の構造——神の義、キリストの命、信者の信仰

聖書：ローマ 1:16-17, 3:22, 5:1-11, 10:17, ヘブル 11:1, 12:1-2 前半

I. ローマ人への手紙における神の福音に関するかぎとなる言葉と、神の永遠のエコノミーの標語は、ローマ第 1 章 17 節です。この節は、神の福音の構造を啓示しています——「義人は信仰によって命を持ち、そして生きる」。

II. 神の義は、神の救いの法理的な手続きです——ローマ 1:16-17 :

A. 神の義の要求が満たされなければ、神は罪人を赦すことができません（詩 103:6-7）。神の義によれば、「罪を犯す魂は必ず死ぬ」（エゼキエル 18:4）のであり、「罪の報酬は死です」（ローマ 6:23）:

1. キリストは罪人の身代わりとして、身代わりの死を成し遂げました。この死は、神の律法にしたがった合法的なものであり、神が律法にしたがって承認し、良しと認めたものでした——イザヤ 53:5-6, II コリント 5:21, マタイ 27:45-46。
2. 義なる方であるキリストは、不義な者であるわたしたちの代わって、義なる神によって神の義にしたがって裁かれました。それは、キリストがわたしたちの罪の障害を取り除き、わたしたちを神にもたらし、わたしたちを彼の中で神の義とさせるためでした——I ペテロ 3:18, II コリント 5:21。
3. 十字架上で、イエスはわたしたちに代わって罪とされ、肉において罪を罪定めし、またわたしたちの代わりに死ぬことによって、神のすべての義を満たしました。今や、彼の義のゆえに、神はわたしたちを赦さなければなりません—— 21 節, ローマ 8:3, 10, ヨハネ 19:30。

B. 神は彼の義によって縛られていて、わたしたちを赦さなければならないので、義は神の救いの力であり、わたしたちの救いの揺り動かされない土台です——ローマ 1:16-17 :

1. キリストに対するわたしたちの経験は、神の義の土台の上にあります。この義は神の御座の確固とした、堅固な、揺り動かされない土台であり（詩 89:14）、また神の王国が建造される基礎です（ローマ 14:17）。
2. 神はキリストを死に渡して、わたしたちの身代わりとしました。神はキリストの死がわたしたちの罪の負債を完全に支払ったことを承認しました。神の右に座っている復活し昇天したキリストは、この支払いの「領収書」です—— 4:24-25。
3. こういうわけで、いつであれわたしたちがイエスの血を宣告して、神の義に訴えるとき、神はわたしたちを赦す以外に選択はないのです—— I ヨハネ 1:9, 詩歌 235 番。

C. 命は、神の救いの目標です。こういうわけで、義認は「命の」義認です。わたしたちは義認を通して、神の義の標準に到達し、それに符合しています。ですから、今や神はご自分の命をわたしたちの中へと分け与えることができますのです——ローマ 5:18。

III. キリストの命は、神の救いの有機的な目的です——ローマ 5:10 :

A. わたしたちが義とされた結果は、キリストの中で神をわたしたちの命として完全に

享受することです。わたしたちは神の有機的な救いにおいて、愛、恵み、平安、望み、命、栄光、聖霊、キリスト、神をわたしたちの享受として持ちます—— 1-11 節。

B. キリストの救う命は以下の方法で、神のダイナミックな救いの有機的な目標を完成します—— 10 節：

1. わたしたちは、神からわたしたちに与えられた義としてのキリストの中で、神によって義とされています。それは、わたしたちがこの命の中で、神の御前に生きるためです—— 1:17。
2. この命は、神によって義とされた信者たちを、神の多くの子たちとならせます（8:14. ヘブル 2:10）。彼らは命の霊によって（ローマ 8:2）、神の生み出し増殖する命をもって再生されることを通して（I ペテロ 1:3）、キリストの多くの兄弟たちとなります（ローマ 8:29）。
3. この命は、死につつある信者たちに分け与えられて、彼らをキリストの中で成長させ、死から出て円熟へと至るようにします—— 11 節。
4. 内住のキリストは、命の霊によって信者たちの中で動いて、彼らにキリストの命とこの命の平安を享受させます—— 5-6 節。
5. この命は、聖なる要素としての神の聖なる性質をもって、わたしたちを聖別します—— 6:19-20。
6. この命は、命の霊によって、再生の洗いに基づいて、わたしたちを更新し、わたしたちを古い人の古い要素から、新しい人の新しい構成へと更新します—— 12:2 後半. テトス 3:5。
7. この命は、命の霊によって、キリストの神聖な命の要素をもって、新陳代謝的にわたしたちを造り変え、わたしたちを古い構成から、新しい構成へと造り変えて、キリストの有機的なからだを建造します——ローマ 12:2b, 5. II コリント 3:18。
8. この命は、わたしたちを神の長子であるキリストのかたちへと同形化して、わたしたちを完全に成長した神・人とならせて、三一の神を表現させます——ローマ 8:29。
9. この命は、わたしたちの体の贖いを通して、わたしたちを栄光化して、わたしたちに栄光の自由とわたしたちの完全な子たる身分の中へと入らせます—— 21, 23, 30 節。
10. この命によって、わたしたちは王として支配して、サタン、罪、死を治めます—— 5:17, 21。
11. 以上の十項目はすべて、キリストの有機的なからだを生み出し建造して、諸地方召会として表現させるためです。これはローマ人への手紙の最後の五つの章において扱われています。

**IV. 信者の信仰は、神の救いの実行上の実体化です——ヘブル 11:1：**

- A. 信者の信仰は、実は彼ら自身の信仰ではなく、キリストが彼らの中へと入って彼らの信仰となることです——ローマ 1:12. 3:22 とフットノート 1. ガラテヤ 2:16 とフットノート 1。
- B. わたしたちがキリストの中へと信じることは、彼に対するわたしたちの評価であり、

- 彼の魅力に対する反応です——ローマ 10:17. ヘブル 12:1-2 前半. 参照、使徒 14:27。
- C. 信仰は言葉を聞くことから来ます。わたしたちが書かれた言葉（聖書）の中の生ける言葉（キリスト）に来るとき、彼はわたしたちに対して、適用された言葉（その霊）すなわち、信仰の言葉となります——ローマ 10:8, 17. ガラテヤ 3:2. 参照、ヘブル 3:12。
- D. 人がキリストに聞き、彼を知り、彼を評価し、彼を尊ぶとき、彼は人の中で信仰を生み出し、人の中で信仰となって、人が彼を信じることができるようにします—— 12:2 前半. ローマ 10:17. ガラテヤ 3:2, 5. 5:6。
- E. 信仰とは、「神はある」と「わたしたちはない」を信じることです。彼はあらゆる事においてただひとりの方、唯一の方でなければならず、わたしたちはあらゆる事において「ない」でなければなりません——ヘブル 11:1, 5-6。
- F. わたしたちは信者として、わたしたちの信仰の霊を活用することにより、信仰によって生き、キリストを信仰として人の中へと注入します（Ⅱコリント 4:13. ローマ 10:14-17. 使徒 26:22-29）。それによって、彼らは彼の定められた御旨のために、以下のようなキリストとの有機的な関係の中へともたらされます：
1. キリストは栽培されたオリーブの木、またぶどうの木であり、わたしたちは彼の枝です——ローマ 11:17, 24. ヨハネ 15:1-8。
  2. キリストはかしらであり、わたしたちは彼の肢体です——Ⅰコリント 12:12, 27。
  3. キリストは命の息、命の水、命のパンであり、わたしたちは彼を呼吸する者、彼を飲む者、彼を食べる者です——ヨハネ 20:22. 4:10, 14. 7:37-39 前半. 6:35, 51-63, 68。
  4. キリストは花婿であり、わたしたちは彼の花嫁です—— 3:29-30. Ⅱコリント 11:2-3。
- G. 信仰とは、わたしたちの存在に適用された主観的な神です。こういうわけで、神にとって不可能なことはないように、信仰にとって不可能なことはありません——マタイ 17:20. 19:26。
- H. 信仰の大いなる、抑制することのできない、無限の力によって、多くの人は動機づけられて、主のために苦難を受け、命の危険を冒し、勝利を得た遣わされた者また殉教者となり、神の永遠のエコノミーの福音を地の果てにまで広めます——ルカ 18:8. ローマ 16:3-4. 使徒 20:24. Ⅰテモテ 1:4, 11-12. マタイ 24:14. 使徒 1:8。